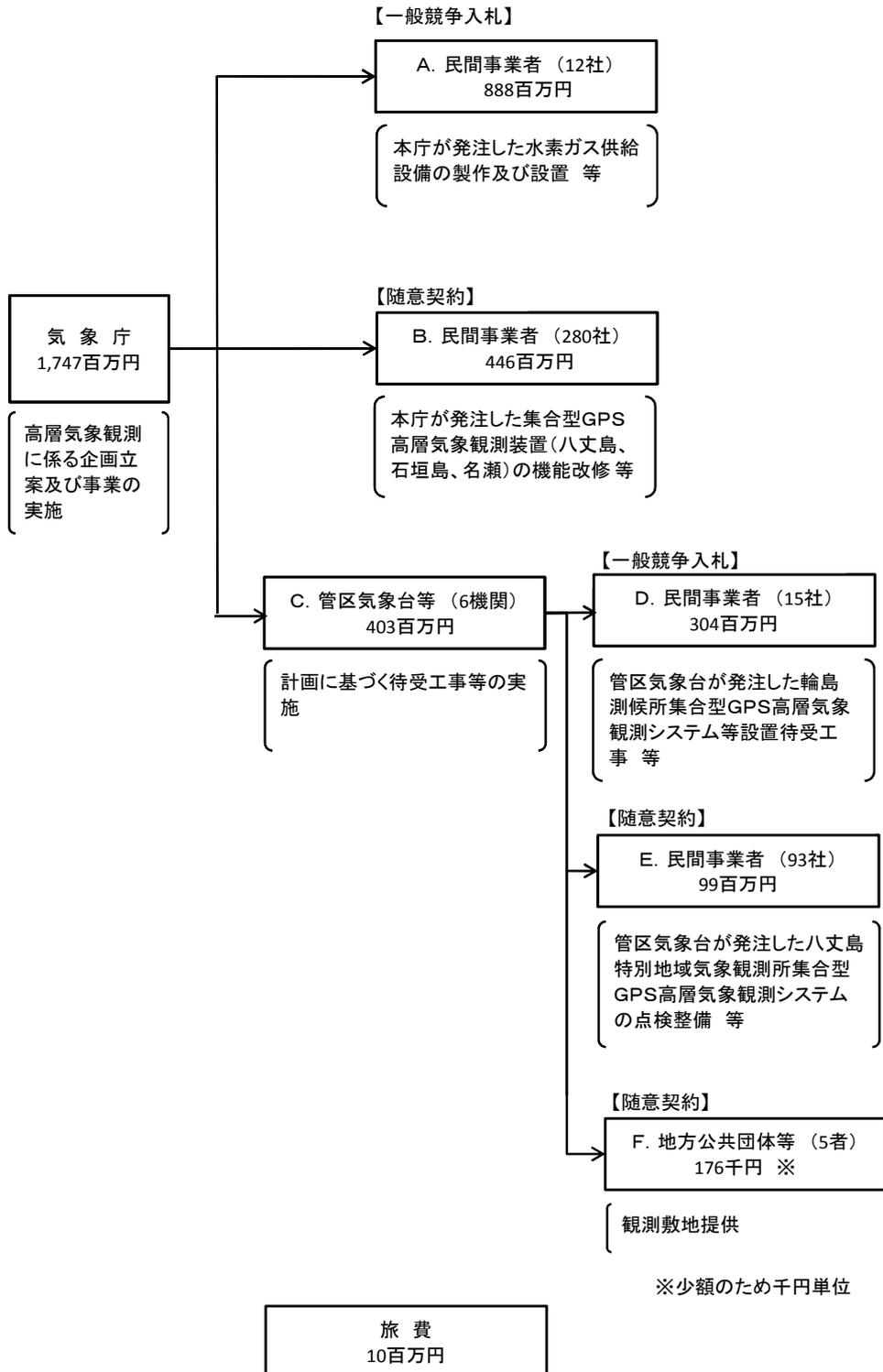


行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	高層気象観測	事業開始年度	昭和31年	作成責任者		
担当部局	気象庁観測部	担当課室	観測課	課長 赤枝 健治		
会計区分	一般会計	上位政策	自然災害による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	気象業務法(第3条、第4条 他) 災害対策基本法(第3条、第8条)	関係する計画、通知等	防災基本計画(昭和38年策定) 世界気象監視計画(WMO策定、昭和38年開始)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大気の大立体的な構造(状態)の把握のため、直接的・間接的に上空の気温・湿度、気圧、風向風速を観測し、気象現象を的確に予測して適切な予報・警報を行うことを通じて、気象災害の防止・軽減を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国14箇所の高層気象観測地点において、WMOの基準に従い1日2回(9時及び21時)、観測測器(ゾンデ)を取り付けた気球を上空に飛揚させ、上空30kmまでの大気状態の基本的な物理量である気温、湿度、気圧、風向風速を直接的に観測する。観測成果はWMOの定める形式に基づき世界各国に通報する。また、ウインドプロファイラ観測網では、電波により上空5km程度までの風向風速を高度300m毎、10分間隔で時間的・空間的に詳細な遠隔観測を行う。					
実施状況	活動指標名	単位	H19年度	H20年度	H21年度	備考
	高層ゾンデ観測地点数	カ所	16	14	14	
	高層ゾンデ観測実施回数	回/カ所	12,352	10,673	10,643	
	ウインドプロファイラ観測地点数	カ所	31	31	31	
	ウインドプロファイラ観測通報回数	回/日	744	744	4,464	全国31観測局 H21年度に通報間隔を1時間 毎から10分毎へ改善
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	455	1,639	583	537	512
	執行額	455	475	1,747		
	執行率	100.0%	29.0%	299.7%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	—		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	気象庁自らが行う契約等に基づき支出していることから支出先や用途については全て、明確に把握できている。また、支出に当たっては検査等を行い実施内容の確認を行っている。				
	見直しの余地	<p>・高層ゾンデ観測は上空大気を直接観測できる唯一の方法であり、ウインドプロファイラ観測は大気中層までの風の動きを連続的に観測するものである。適切な予報・警報を行うためには、これらのデータを総合し大気の大立体的な構造を把握する必要があることから、本業務を継続する必要がある。</p> <p>・今後とも着実かつ適切に業務を遂行するとともに、調達の一層の競争性の確保など、効率的、効果的な予算執行に努める。</p> <p>(20年以上経過した事務事業の廃止を前提とする検証)</p> <p>本事業による観測データは、天気予報及び数値予報の基礎資料として利用されるものであること、集中豪雨等を的確に予測し気象災害の防止・軽減を図るためのものであることから、引き続き、事業として継続する必要があるが、消耗観測機材の積算及び調達方法の改善等の見直しを行うこととする。</p>				
予算監視の効率化	【一部改善】 消耗観測器材の積算の見直し、一括購入など調達方法の改善等を図り、コスト縮減に努める。					
補記	【予算科目】			※平成20年度の執行率が低く、平成21年度の執行率が100パーセントを超えているのは、平成20年度からの繰越額1,164百万円を平成21年度に支出したため。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>232気象官署施設費 (21年度予算額) (21年度決算見込額)</li> <li>95気象官署施設整備に必要な経費 — 1,164百万円</li> <li>95191-1202-08 施設施工旅費 — 6百万円</li> <li>95191-1203-09 施設施工庁費 — 5百万円</li> <li>95191-1204-15 施設整備費 — 1,153百万円</li> <li>233観測予報等業務費</li> <li>95自然災害による被害を軽減するための気象情報の充実に必要な経費 583百万円 583百万円</li> <li>95191-2123-08 職員旅費 4百万円 4百万円</li> <li>95191-2123-09 観測予報庁費 579百万円 579百万円</li> </ul> <p>合計 583百万円 1,747百万円</p>					

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. アタカ大機(株)			E. 明星電気(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	水素ガス供給設備の製作及び設置	271	雑役務費	八丈島特別地域気象観測所集合型GPS高層気象観測システムの点検整備等	12
計		271	計		12
B. 明星電気(株)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	集合型GPS高層気象観測装置(八丈島、石垣島、名瀬)の機能改修	48			
備品費	"	13			
計		61	計		
C. 大阪管区気象台					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	松江地方気象台集合型GPS高層気象観測システム等設置に伴う待受工事他	127			
計		127	計		
D. 里谷組(株)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	輪島測候所集合型GPS高層気象観測システム等設置待受工事	69			
計		69	計		

## 【別紙】

A. 民間事業者(12社) 888百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	アタカ大機(株)	271
2	三興通商(株)	239
3	明星電気(株)	122
4	トーテックス(株)	75
5	日本空調サービス	68
6	三菱電機(株)	32
7	西菱電機(株)	30
8	三菱スペースソフトウェア(株)	26
9	日本GPSソリューション(株)	21
10	和光電池(株)	4

D. 民間事業者(15社) 304百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	里谷組(株)	69
2	ひらぎの(株)	62
3	向陽建設(株)	58
4	井上建設(株)	38
5	赤間建設(株)	22
6	九州山光社(株)	16
7	太平熔材(株)	7
8	郷栄工業(株)	6
9	北海道エアウォーター(株)	6
10	アトリエブंक(株)	5

B. 民間事業者(280社) 446百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	明星電気(株)	61
2	西菱電機(株)	25
3	鈴木商館(株)	19
4	三興通商(株)	17
5	NECキャピタルソリューション(株)	15
6	三菱電機(株)	14
7	磯山建装工業(有)	10
8	ナカショウ(有)	3
9	池田建装(株)	3
10	合資会社日新商会	2

E. 民間事業者(93社) 99百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	明星電気(株)	12
2	北海道エアウォーター(株)	12
3	鈴木商館(株)	11
4	大安工務店(株)	7
5	オカノ(株)	4
6	西尾建設(株)	3
7	赤間建設(株)	3
8	井上建設(株)	2
9	大協建設(株)	2
10	富田組(株)	2

C. 管区气象台等(6機関) 403百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	大阪管区气象台	127
2	東京管区气象台	117
3	札幌管区气象台	100
4	福岡管区气象台	34
5	仙台管区气象台	17
6	沖縄气象台	8
7		
8		
9		
10		

F. 地方公共団体等(5者) 176千円		
No.	支出先	金額 (千円)
1	鳥取県	104
2	鹿児島県	54
3	串木野市	11
4	奄美市	4
5	九州森林管理局	3
6		
7		
8		
9		
10		